

令和7年度

第19回 司法書士人権フォーラム

女性を取り巻く環境と 貧困を考える

～ 性別に関係なく安心して暮らせる社会へ～

現代日本において、女性の貧困は深刻な社会問題であり、特に未婚、離別、死別などを理由にひとり親又は単身世帯となった女性は、男性に比べ経済的困窮に陥るリスクが著しく高くなっています。この背景には、男女間の賃金格差や、性別役割分業を前提とした旧来の家族モデルに根差す社会制度など、根深い構造的問題が存在します。本フォーラムでは、これまで経済的困窮者の支援に取り組んできた司法書士が、こうした女性の貧困をめぐる構造を深く理解し、具体的に何ができるのかを考えます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催日時

令和8年 **2月21日(土)**

午後1時から午後5時まで

(午後0時30分からサイトへの接続可能)

開催方法

Zoomウェビナーを使用した
オンライン開催(事前登録制)

対象者

どなたでもご参加いただけます。

定員

950名

プログラム

次ページの日程表をご参照ください。

参加費

無料

申込方法

以下URL又は二次元コードからお申し込みください。

【Zoomウェビナー申込用】

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_AovP-xq1TIKrl0soACVEVw

申込期限▶なし ※定員に達し次第、お申込みを締め切らせていただきます。(先着順)



女性を取り巻く環境と貧困を考える

～ 性別に関係なく安心して暮らせる社会へ～

Program

月日	時 間	内 容
令和8年2月21日(土)	12:30	12:30よりサイトへの接続可能
	13:00	開会の挨拶
	13:05	第1部 報告
	(40分)	男女の相対的貧困率の差とその原因 報告者：厚生労働省
	13:45	第2部 基調講演
	(60分)	女性の貧困の全体像とその構造 登壇者：阿部 彩（東京都立大学教授、子ども・若者貧困研究センター長）
	14:45	休 憩（20分）
	15:05	第3部 パネルディスカッション
	(110分)	婚姻制度・労働格差における女性の貧困を考える パネリスト：阿部 彩（東京都立大学教授、子ども・若者貧困研究センター長） 竹信 三恵子（ジャーナリスト） 松永 朋子（司法書士） コーディネーター：山部 博喜（日司連市民の権利擁護推進室経済的困窮者の権利擁護部会副会長）
	16:55	閉会の挨拶
	17:00	

注意事項

- ・プログラムについては予定であり、一部変更の可能性がございますのでご了承ください。
- ・視聴する端末に予めZoomをインストールしてください。なお、通信料は視聴者のご負担となりますのでご了承ください。
- ・本フォーラムにつきましては、下記日本司法書士会連合会ホームページでもご案内しております。
また、本フォーラムで使用する資料についても、フォーラム開催日までに下記ホームページに掲載予定です。
<https://www.shiho-shoshi.or.jp/news/event/post/>

